

論文タイトル：

PDE4B 阻害薬 nerandomilast：新規肺線維症治療薬としての展望

著者名：

桑名正隆¹，西岡安彦²，近藤康博³

所属：

1. 日本医科大学大学院医学研究科アレルギー膠原病内科学分野
2. 徳島大学大学院医歯薬学研究部呼吸器・膠原病内科学分野
3. 公立陶生病院呼吸器・アレルギー疾患内科

要旨：

IPF および PF-ILD [近年は進行性肺線維症 (PPF) とも呼ばれる] は、肺の線維化を伴う予後不良の疾患である。非特異的 PDE4 阻害薬による呼吸器疾患を含めた様々な疾患の治療が検討されているが、嘔吐などの副作用が使用を妨げている。肺での炎症と線維化に関与する PDE4B を優先的に阻害する nerandomilast は、忍容性の向上と抗炎症・抗線維化作用が期待される新規治療薬である。本稿では、IPF および PF-ILD の臨床疫学と PDE4B の関与、本化合物の臨床応用について述べる。

キーワード：

特発性肺線維症，間質性肺疾患，ホスホジエステラーゼ 4B 阻害薬，BI 1015550，Nerandomilast
idiopathic pulmonary fibrosis (IPF), interstitial lung disease (ILD), phosphodiesterase 4B (PDE4B) inhibitor, BI 1015550, Nerandomilast

短縮タイトル：

PDE4B 阻害薬 nerandomilast の展望